

第8回京都府戦略的地震防災対策推進部会
(京都府防災会議専門部会)

1 開催日時

平成24年6月13日(水) 午後1時30分～3時30分

2 場 所

ルビノ京都堀川「梅」

3 出席委員

林委員、明致委員、吹田委員、牧委員

4 結果概要

京都府戦略的地震防災対策推進指針及び同推進プランの進捗状況について、事務局から説明を聴取し、委員間で議論を行った。議事の概要は次のとおり。

(1) 全体的な進捗状況について

○23年度までの進捗状況については、全体として概ね順調に事業が進められてきている。

○事業は①京都府が主体となり行う事業②人づくりに関する事業③復興・復旧に関する事業の3つに大別できる。そのうち、京都府が主体となり行う事業については順調に進捗が進んでいる。また、人づくりに関する事業は防災意識の向上について、東日本大震災の発生があって進んできている。事前に復興対策を立てる事業については他の分野に比べ進捗が進んでおらず、今後の課題である。

○次年度は5箇年計画の中間年であり、東日本大震災の発生を受け、各事業において顕在化していなかった施策が見えてきた点等もあるため、目標等の見直しを行ってもよいのではないか。

○事業の目的について明確化を図ることも大事。課題等の分析を行った上で、ブレイクダウン等も行いながら進捗を進めることも必要。

○評価の基準としては、予算が定常的に確保できるようになったことや、最終の目標を明確にし、年次計画を設定したなどを評価する点としてはどうか。

○多くの項目が「実施中」にまとまっているが、その中で進捗度に応じて細かく細分化することによって、より分析をすべきではないか。

(2) 個別の事業の進捗状況について

○未着手となっている「知的集約化を考慮した復元・復興計画を策定する」の項目の事業は事前の復興計画を考えるためには 21 世紀後半の京都のあり方を考える必要があり、府の総合計画やグランドビジョンとの関連で検討する必要がある。

○その他、進捗状況が遅れている事業については、各関係部局と事業内容や目標設定について、見直しを検討すべき。